

## ある八重子物語

## OH! マイママ



(2011年公演より)

作＝井上ひさし  
演出＝丹野郁弓  
出演＝篠田三郎、有森也実(客演)  
吉田陽子、桜井明美  
中地美佐子 ほか

作＝ブリケール&ラセイグ  
演出＝釜紹人  
出演＝海宝弘之、渡辺 力  
山崎華奈(予定) ほか

日程は  
後日お知らせいたします

日程は  
後日お知らせいたします

民藝初登場の井上ひさし作品は、東京の花街・柳橋を舞台に、新派マニアの人たちと、八重子そっくりの「音楽のような声」をもつ芸者の物語です。「世の中が今より少しでもましになりますように」という新劇の精神に共感し女優を志した初代・水谷八重子。彼女のファンだった井上氏からの熱烈なラブレターであり、生活の中で演劇を愛するすべての人たちに対する応援歌とも言えるでしょう。

フランスのブーヴァール劇を柱とするNLT。社会や観念に対して、皮肉や風刺をこめたエピソードが散りばめられています。大物政治家の話で富裕層といえる階級の彼がトラブルに巻き込まれることで、フランスの大衆はその慌てふためく姿に大笑いします。一方、苦しみを背負った人への温かい視線や、親子の愛情、またそれを超えた博愛ともいえる精神が、作者の根底にあると絶賛されました。

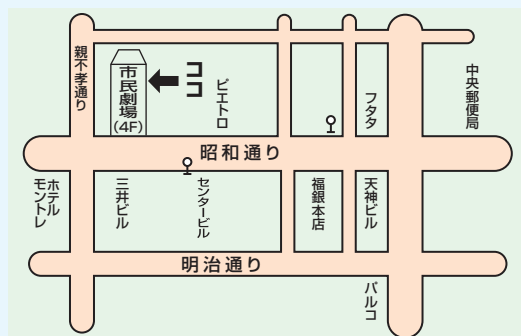
## 自分たちで会費を持ち寄り 自分たちで運営する市民劇場 入会のご案内

いま、わたしたちは情報化社会の進行と経済優先の効率主義のなかで、ますます不安が増大し、人間性の喪失にはげしくおびやかされています。しかし、そのような空虚な時代だからこそ、真の美しさ、優しさ、希望、愛情など、人間性の尊厳を高らかに謳う演劇がわたしたちにとってかけがえのないほど大切なものというまでもありません。

「自分たちで会費を持ち寄り、自分たちで運営する市民劇場」は、1961年春に創立し、2021年に60周年を迎え、この間に例会にとりあげたお芝居は、内外の古典演劇から現代創作劇にいたるまで、じつに460本にも及びます。福岡市民劇場は現在会員数約3,300名。毎月2,300円の会費を持ち寄り、年6回の例会（鑑賞会）を催しています。

### 入会要領

- ① 3名以上でサークルを作って入会
- ② 1年以上は会員として継続すること
- ③ 入会金＝大人：2,000円、中高生：1,000円  
会費＝毎月 大人：2,300円、中高生：1,100円



## 福岡市民劇場

福岡市中央区天神3-4-10  
天神西茂ビル4F

TEL 771-8671・FAX 771-9160

# 2023年 例会の ごあんない 福岡市民劇場





## 人情噺・文七元結

## 昭和虞美人草

## 反応工程

## シェアの法則

## 星をかすめる風

## 炎の人



原作＝三遊亭圓朝  
脚本＝平田兼三  
演出＝小野文隆  
出演＝藤川矢之輔、早瀬栄之丞 ほか

作＝マキノノゾミ  
演出＝西川信廣  
出演＝早坂直家、植田真介  
齊藤祐一、富沢亜古 ほか

作＝宮本 研  
演出＝小笠原響  
出演＝伊藤達広、塩山誠司  
脇田康弘、田中孝宗  
小泉将臣 ほか

作＝岩瀬晶子  
演出＝須藤黄英  
出演＝山本龍二、岩倉高子  
若林久弥、佐野美幸  
森脇由紀 ほか

原作＝イ・ジョンミョン  
訳＝鴨 良子  
脚本・演出＝シライケイタ  
出演＝葛西和雄、広戸 聡  
北 直樹、島本真治  
矢野貴大 ほか

作＝三好十郎  
演出＝鶴山 仁  
出演＝藤原章寛、白幡大介  
青木和宣、佐々木愛 ほか

| 2月     | 13日 | 18日 |
|--------|-----|-----|
| 10日(金) |     | ○   |
| 11日(土) | ○   | ○   |
| 12日(日) | ○   |     |
| 13日(月) | ●   |     |

●＝12:30開演  
ご注意  
例会日程は、変更になる場合があります。

落語でお馴染みの三遊亭圓朝の人情噺を芝居にした、笑いと涙にあふれた傑作。いじらしい真心に泣き、引つ込められない意地にも笑い、いかにも江戸っ子らしい登場人物たちが繰りひろげる心づるおつ一幕。初演以来、代々継承し、80回を超えて上演された作品。  
名人芸とも言える狂言舞踊『棒しばり』が同時上演。

ももちパレス

| 3月     | 13日 | 18日 |
|--------|-----|-----|
| 27日(月) |     | ○   |
| 28日(火) | ○   |     |
| 29日(水) | ○   |     |
| 30日(木) |     | ○   |
| 31日(金) | ●   |     |

●＝12:30開演  
ご注意  
例会日程は、変更になる場合があります。

火薬庫が爆発したように燃え上がった学生運動が影をひそめた昭和48年。敗戦からやがて高度経済成長の絶頂と終焉にむかう時代のうねりの中で錯綜する、すでに戦争を知らない世代である若者たちの姿。夏目漱石の『虞美人草』をモチーフに「人生の中で、普遍的で何かとても大切なこと」をドラマチックに描きます。

ももちパレス

| 6月     | 13日 | 18日 |
|--------|-----|-----|
| 12日(月) |     | ○   |
| 13日(火) | ○   |     |
| 14日(水) | ○   |     |
| 15日(木) |     | ○   |
| 16日(金) | ●   |     |

●＝12:30開演  
ご注意  
例会日程は、変更になる場合があります。

勤労動員を経験した宮本研の実体験をもとに書かれた作品。終戦間際の軍需化学工場に学徒動員された若者たちの生き方、そしてそれを取り巻く大人たちの姿を通じて炙り出される「日本」。それは現代のこの国の姿そのままであり、いまだ何も変わらぬ社会の構造が見られます。  
非常時における国家と個人の相克を描きながら、戦後民主主義の原点と矛盾を鋭く問い直します。

ももちパレス

| 7月     | 13日 | 18日 |
|--------|-----|-----|
| 10日(月) |     | ○   |
| 11日(火) | ○   |     |
| 12日(水) | ○   | ○   |
| 13日(木) | ●   |     |

●＝12:30開演  
ご注意  
例会日程は、変更になる場合があります。

創立以来、現代を生きる劇作家と共に創作劇を作り続ける劇団が、今回は、岩瀬晶子氏との初作品です。舞台はシェアハウス、まるで現代日本社会の縮図のような登場人物たち、ここで起こる身近な問題を通して「共有シェア」をテーマに、ひとりひとりが相手の立場に立ち、多様性を認める社会の大切さを描いていきます。

ももちパレス

| 10月    | 13日 | 18日 |
|--------|-----|-----|
| 23日(月) |     | ○   |
| 24日(火) | ○   |     |
| 25日(水) | ●   |     |

●＝12:30開演  
ご注意  
例会日程は、変更になる場合があります。

福岡刑務所で獄死した韓国の国民的詩人ユン・ドンジュ（尹東柱）を素材にした、フアンタジの要素が強い作品。一人の看守の死をめぐるその犯人捜しのミステリアスな物語は進行していきますが、最後に輝くのが詩や芸術作品の魅力なのです。戦争中という極限状況の中で、囚人と看守が芸術を通じて心を通わせていく姿は、いまコロナ禍で必要とされている芸術の役割にも共通するものです。

福岡市民会館

| 12月    | 13日 | 18日 |
|--------|-----|-----|
| 11日(月) |     | ○   |
| 12日(火) | ○   |     |
| 13日(水) | ●   |     |

●＝12:30開演  
ご注意  
例会日程は、変更になる場合があります。

真実と美を追い求めた人間ゴッホの、炎ともいえる太陽の色ほどに鮮やかな生涯。  
戦前から戦後の激動する日本にあつて、多くの名戯曲を生み出した三好十郎の代表作。1958年に文化座で初演。生前は全く無名であつた若き芸術家の無垢な魂と、彼を支え、人生の伴走者となつた人々を丁寧に描きました。文化座の描くゴッホはあくまで若くて未熟で、孤独です。

福岡市民会館